

第11回善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

- 1 日時 平成29年10月26日(木) 14時～
- 2 場所 善通寺市庁舎2階 第4会議室
- 3 出席者 会長
委員9名
欠席5名
- 4 会議の概要
 1. 保健福祉部長あいさつ
 2. 委員自己紹介
 3. 議事
 - (1) 会長、副会長の選任について
 - (2) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
 - (3) その他
- 5 資料
教育・保育の量の実績及び見込み
教育・保育の提供体制
地域子ども・子育て支援事業の量の実績及び見込み
地域子ども・子育て支援事業の提供体制
- 6 会議録
 1. 保健福祉部長あいさつ
 2. 委員自己紹介
 3. 議事
 - (1) 会長、副会長の選任について
〔事務局〕 子ども子育て支援会議条例第4条第1項に基づく選任を説明。
事務局案として会長に野崎委員、副会長に西川委員を提案。
－ 他に意見はなく、会長、副会長を選任 －
 - (2) 子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
〔事務局〕 資料に沿って説明。
〔委員〕 ホームヘルプサービス事業(就学児のみ)について
〔事務局〕 ヘルパーによる育児支援、家事支援をするサービスで未就学児は、－

時預かり事業に含まれている。

〔委員〕 スタディーアフタースクールの人員と資質向上について

〔委員〕 昨年度から県の研修や月1回の教育委員会と意見交換をしている。

〔委員〕 保育士不足で、定着率が悪い。

〔会長〕 厚労省の施策はいろいろあるが人員増にはすぐに反映されない。

〔委員〕 スタディーアフタースクールで、先生1人に対し子ども20人をみるとなっているができるのか。

〔事務局〕 国基準では1人で20人となっている。スタッフが少ないため、人の確保が課題となっている。手のかかるお子さんもいるので人手は必要と考えている。

〔委員〕 一時保育が必要となっているのにサービスを受けることができない人が多くいる。

〔事務局〕 保育所の利用者が年々増えており一時保育の必要性も同様に高くなっている。保育の需要量も当初見込みより増えており、保育サービスの不足が想定される。保育サービスの供給体制を今以上に整備する必要があると考えている。また、ホームヘルパー養成研修を実施し人材の確保に努めたい。

〔会長〕 ファミリーサポートはどうか。

〔委員〕 他市のファミリーサポート事業はその所在地の住民でなくても利用できる。問題はマンパワー不足。

〔会長〕 ワンポイントでも協力してもらえ人を発掘していく事が重要。

〔委員〕 補助が必要な子どもがいる保育所があるが、小学校のように加配の先生がつくことはあるのか。

〔事務局〕 障がいがある子どもについては事業所に補助する事業がある。保育士の加配も各保育所で判断し対応している。

〔委員〕 人材不足解消のひとつとして学生ボランティアをお願いできないか。

〔会長〕 必要なときは話をいただければと思う。

〔会長〕 事業計画を策定した段階とはかなり状況が変わっており、働く女性も増えている。全国的に保育士不足が課題となっているが、その中で人をどう活用し、子育てサポートに繋げるかが重要な課題となる。今後さらに、環境やサービスの供給について整備をしなければならない。

(3) その他 委員から特段意見はなく、閉会する。